



## 「地域協働学習を柱にAI技術を活用したアカデミックなプレゼンテーションが可能なDX環境整備」

### 取組

#### 情報Ⅱ等の授業イメージに関すること

「情報Ⅱ」「コンテンツの作成と発信」の要素を含む「平高みらい探究」を開設してデジタル人財を文理横断的に育成するとともに他の教科においても高性能PCを使用し、観察や実験の機会を増やす

#### 探究学習・課外活動に関すること

地域協働学習を柱とする本校の土壌を活かしデータサイエンスやAI技術を活用した地域社会へのアプローチを学習のテーマに据え、小中学生も対象にしたアカデミックなプレゼンテーションが可能な設備を整える

#### デジタルスペースに関すること

160人収容可能な視聴覚教室をAI技術を活用したプレゼンテーションが可能なスペースとし、どの座席でも遠隔授業を受けやすい照明と音響を整えデジタル人財の育成に繋げる（外部コンテンツの活用を図る研修室と情報発信のためのスタジオ機能も充実させる）



### 育成する生徒像・取組による効果

「平高みらい探究」以外の教科においても高性能PCを使用し観察や実験の機会を増やし、データサイエンスを活用した地域社会へのアプローチができる人材の育成。  
大学や企業などの外部コンテンツの活用を図り、全国に向けて情報発信していける生徒が増えること。